

現代社会

教科	公民	単位数	2	学科・学年	工業科1年生
使用教科書	「最新現代社会」(実教出版)		副教材等	「2018 ズームアップ現代社会資料」(実教出版)	

◇ 学習の到達目標 ◇

現代社会の諸問題について自己とのかかわりに着目して課題を設定し、倫理・社会・文化・政治・経済などさまざまな観点から追究します。そのために、データを見て社会のさまざまな現象を分析するなど資料活用能力を高め、社会の一般常識に対する理解を深めます。

◇ 科目の特色 ◇

「現代社会」は、高等学校公民における基礎的・基本的な知識を習得し、社会現象を分析し、考察する能力などを身に付ける科目です。政治・経済の分野を中心とした現代の諸問題を幅広く学習します。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習活動
4 6	1. わたしたちの生きる社会	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろと調べ、考え、まとめ、発表することを通じて、問題の「追究方法」を学ぶ学習をする。 ・「地球環境」「資源・エネルギー」「生命科学と情報技術」という三つの問題にスポットを当てて現代社会の特質を理解し、私たちの生き方を考える。 【前期中間考査】
7 9	2. 現代の社会と人間 3. 現代の民主政治と日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> ・人生のなかに青年期を位置づけ、職業の持つ意味、社会に参加することの意義について考える。 ・民主政治について理解し、民主主義の本質を探究する。 【前期期末考査】
10 	4. 現代の経済社会と国民生活	<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義や市場経済の機能を理解するとともに、その問題点を考え、政府の役割を考察する。 【後期中間考査】
1 3	5. 国際社会と人類の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国際経済の基礎的な事項について理解し、国家間の相互依存が深まっている現代の国際経済の特質について探究する。 ・第二次世界大戦後の国際政治について理解し、日本が国際社会に貢献してきた具体的な事例を調べ、日本の立場と役割について考察し、自らの考えをまとめて表現する。 【後期期末考査】

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	現代社会の課題について関心をもち、意欲的に課題を追究する態度や客観的に考察しようとする態度を身に付けているか。
思考・判断・表現	現代社会に関するデータや資料を分析し読みこなし、広い視野に立ち多面的に考察して、状況や問題点を把握した上で、適切に表現できるか。
資料活用の技能	提示したデータを的確に読み取り、分かりやすく表現することができるか。さまざまな資料を活用し、的確に考察できるか。
知識・理解	現代社会の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や理論などについて理解し、その知識を身に付けているか。

このため、具体的には次のものを対象とします。

- ①定期考査 ②小テスト ③授業で活用するプリント、ノートなどの提出物の内容
- ④長期休業に提示される主題学習(課題追究学習)のレポートや課題
- ⑤発表(プレゼンテーション、ディベートなど)の仕方や内容
- ⑥学習活動の参加状況(授業中の態度・発言内容、作業への取り組みなど)

また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

「現代社会」の授業を通して、現代の社会で起こっているさまざまな問題について関心・疑問を持ち、自分の問題としてとらえ、自分の考えを表現できるようにしましょう。また、物事を判断するときには、さまざまな立場や考え方について理解したうえで、広い視野からの判断ができるようになりたいものです。